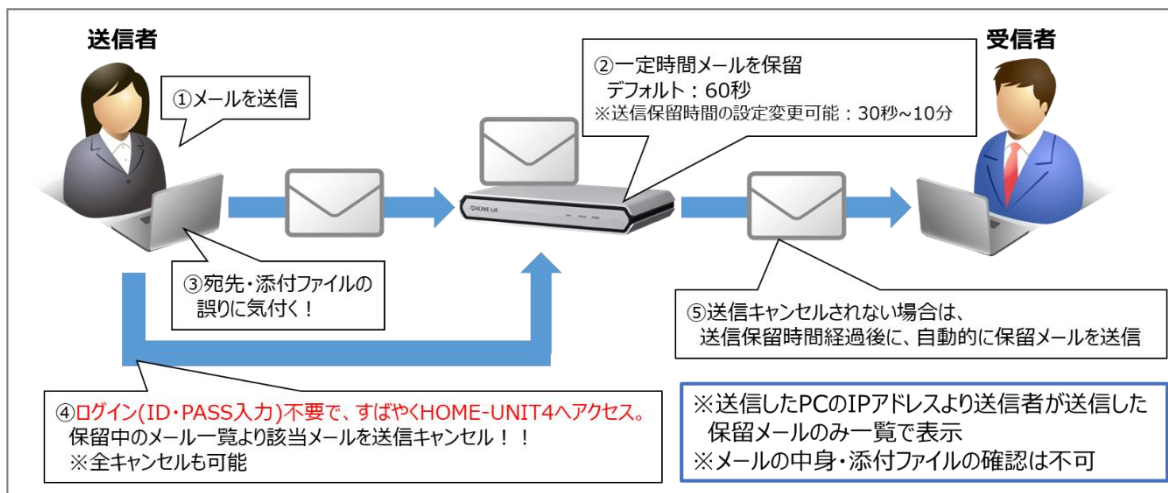


■ HOME-UNIT4 メール誤送信防止サービスについて

HOME-UNIT4 のオプション機能である送信メールの「メール誤送信防止」機能について、詳細仕様を解説します。

◎メール誤送信防止の仕組みについて

メール誤送信防止機能は、送信メールを HOME-UNIT4 で一時的に受信・保留し、一定時間経過後に送信することで、メール誤送信時に送信キャンセルを行うことができる機能です。なお、保留メールに対しては、送信キャンセル／即時送信指示なども行えます。



◎ホワイトリスト仕様について

ホワイトリストを設定し、本機能を利用せずにメールを即時送信することが可能です。設定できる項目は以下の通りです。

■あて先メールアドレス 及び あて先メールアドレス

■送信元メールアドレス 及び 送信元メールアドレス

※ホワイトリスト設定は送信元メールアドレス及び送信元メールアドレスの判定が優先されます。

※あて先（To、Cc、Bcc）が複数設定されている場合、全てのあて先が設定と一致した場合にのみ即時送信されます。

◎メール誤送信防止ご利用上の注意点

HOME-UNIT4 のオプション機能、送信メールのメール誤送信防止について、利用中のメールアプリケーションによって利用制限が発生する場合があります。詳細は以下をご確認ください。

- ① IP 端末数 80 台以上の環境や、メール送受信を頻繁に実施される環境では、設定変更後の負荷増大により、通信遅延等が発生する可能性があります。
- ② **25/587 ポートを使用した SMTP での平文でのメール送信、465 ポートを使用した SSL/TLS で暗号化されたメール送信及び、587 ポートを使用した STARTTLS 通信によるメール送信のみ**、“メール誤送信防止”の対象となります。**Microsoft Exchange などの暗号化通信**をご利用の場合には、本機能は利用できません。

なお、465 ポートを使用した SSL/TLS でのメール通信に対してメール誤送信防止機能の利用する場合 HOME-UNIT4 本体の設定変更、及びクライアント端末への証明書のインポート作業、ご利用中のメーラの設定変更作業が必要です。また、587 ポートを使用した STARTTLS の通信に対してメール誤送信防止機能の利用する場合には、HOME-UNIT4 本体の設定変更、及びクライアント端末でご利用中のメーラの設定を平文に変更する作業が必要です。本設定変更により、推奨ユーザー数の低減や通信速度の低減が見込まれます。

設定の変更をご希望の際には、HOME-CC にご相談ください。

- ③ SMTP サーバとの認証において **CRAM-MD5/DIGEST-MD5** を利用の場合は、クライアント端末側の設定変更をご案内する場合があります。また、特殊な認証方式をご利用中の場合は、本機能は動作しません。
- ④ 「Gmail」や「Yahoo Mail」などのブラウザを使った Web メールは、メール送信時に UNIT を経由しないため、本機能は利用できません。
- ⑤ 専用 URL（ログインなし）から、送信キャンセル／即時送信を指定することができます。

<https://HOME-UNIT4のIPアドレス/mail>

※保留メールの確認ページでは、メール本文の中身・添付ファイルを確認することができません。

※保留メールは HOME-UNIT4 の電源を OFF しても保存されますが、電源 ON や再起動後、保留メールがある場合には、装置起動完了後に、一斉送信されます。

- ⑥ 当該機能を有効とした場合、送信可能なメールサイズは 100MB が上限となります。上限を超えたメールは送信出来ないため、SMTP のエラーレスポンスが送信者に送付されます。
- ⑦ メールのアて先は最大 500 件までです。501 件以上のアて先が指定されたメールが送信された場合は、保留されずそのままメールが送信されます。
- ⑧ 保留可能なメール容量は、500 件/200MB です。保存容量を超過した場合、差出人にエラーメールが送付されます。
- ⑨ 10 分間再送処理を繰り返し実施しても正常に送信ができなかった場合、保留メールは削除され、差出人にエラーメールが送付されます。なお、添付ファイルのサイズオーバーによる送信失敗の場合は差出人に対してエラーメールが即時に送付されます。

※HOME-UNIT4 がインターネットに接続していない場合、エラーメールは HOME-UNIT4 がインターネット接続した後に送付されます。

- ⑩ 確認ページで確認できる保留メールは、確認ページにアクセスした端末と同一の IP アドレスから送信されたメー

ルのみとなります。そのため、IP アドレスが動的に変動する環境では、タイミングによって複数人の保留メールが表示される、保留されているはずのメールが確認できないといったケースが発生する可能性があります。

⑪ メール保留、メール送信などの動作をアラートメールで通知することはできません。

⑫ IPv6 を利用したメール送信に対しては、本機能は動作しません。

IPv4 over IPv6 通信の環境では、HOME-UNIT4 配下の通信は IPv4 で行われますので、本機能が利用できます。

⑬ 複合機の SMTP を使った送信（「スキャンしてメール送信」/「I-FAX」）機能を利用する場合は、複合機からのメールをメール誤送信防止対象から除外しますのでサービス申込時に複合機本体のメールアドレスを HOME-CC にご連絡ください。

その他ご利用方法の詳細は、以下のリンク先より、[クイックガイド(誤送信防止編)]をご確認ください。

HOME-UNIT4/3/2 管理者向けヘルプ：

https://hmbx.canon.jp/help9a/index.php/unit2_admin

◎HOME-UNIT4 メール誤送信防止機能 動作確認 OS 及びメールソフト ※2021 年 10 月 26 日時点

OS バージョン	メールソフト
Windows 10	Outlook2019 Thunderbird
Windows 8.1	Outlook2019 Thunderbird
Mac OS X 11 (Big Sur)	Mac 標準メールソフト(v14.x)
Mac OS X 10.15 (Catalina)	Mac 標準メールソフト(v13.x)
Mac OS X 10.14 (Mojave)	Mac 標準メールソフト(v12.x)

- Canon、iR はキヤノン株式会社の商標です。
- Mac OS は米国 Apple Computer,Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 8.1/10、Exchange、Microsoft OFFICE、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Android は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、Multi-Touch は Apple Inc.の商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

以上